

天才スパイはバニー姿でもしくじらない!!





ギ

とんだ
スケベ
バニー
だな！

くっ……！
やめっ……♡

せっかくだ
我が社自慢の

特別スーツを
堪能して
くれたまえ

こんなもの
くわえて
まともに仕事が
できると
思ってたのか？

んなっ……！







では...

ン

ガク

キッ

くそっ...
身体が
勝手にっ

アッ

ワッ

ウサギらしく
可愛く
跳ねているね

無理やり
動かされて...

キッ

アッ

ワッ

ウサギらしく
可愛く
跳ねているね

そんなに
自分の足は
気持ちが良いのかな

なにを
白々しいっ

その割には
感じる
みたいだが

そ…
そんな訳

ではさらに
激しく動いて
もらおうか

あっ♡
やめっ…♡



はは
口ほど
にもない

あとは脳まで
このスーツを
浸食させれば…



随分激しい
じゃないか

私を許さ
ないんじゃない
なかつたのかな
カンナ君？

…っ！
そんなこと！

カンナは
ご主人様と
エッチさせて
もらえるだけで
光栄ですう♡

トランス
めき

ガッ

めき

ムキ

ムキ

？

は

ガッ

ビュッ

ガッ

ハッ

プッ

は



くくっ
そうだったね

しっかり
堪能
させて
もらおうかな

いっぱい
使って
ください♡

これでっ♡
カンナはあ
ご主人様のものお♡

勿論だ
これから
しっかり
働いて
もらおうか…

